

東三河支部

東三河支部総会開催

東三河支部（鬼頭秀幸支部長）第28回支部総会が開催されました。

- 日時：令和4年4月25日（月）午後3時
- 会場：豊橋商工会議所 9階大ホール
（豊橋市花田町）
- 出席数：27社 委任状36社
合計63社 / 正会員数75社

開会前、長年にわたり東三河支部役員として協会活動に多大なご尽力を賜りました（株）エムエムアイの彦坂真樹様が、昨年12月27日にご逝去されました。哀悼の意を表し出席者全員は黙祷を捧げました。

東三河支部総会は金海慶太郎委員の司会・進行のもと始まり、開会の辞を竹内臨通夫副支部長が宣言され、鬼頭支部長が挨拶を述べました。



挨拶をする
鬼頭支部長

議長に清水宏臣副支部長が選任され議案の審議が行われ、全ての議案が承認されました。

来賓として、東三河総局環境保全課長 河合孝枝氏、東三河総局新城設楽振興事業所環境保全課長 尾崎敬代氏、豊橋市環境部廃棄物対策課長 伊藤訓子氏、（一社）愛知県産業資源循環協会専務理事 堀部隆司氏がご臨席され、各氏より来賓の挨拶をいただいた後、閉会の辞を酒井正樹委員が宣言し閉会となりました。

- 第一号議案 令和3年度支部事業報告、収支決算報告、剰余金処理承認、監査報告
- 第二号議案 役員改選及び役員構成承認
- 第三号議案 令和4年度支部事業計画承認
令和4年度支部活動スケジュール承認
令和4年度支部収支予算承認

令和4年度事業計画

世界中の人達が、コロナの収束を願う中、今度は戦争という、何とも悲惨で最悪な出来事が起きてしまいました。当然、私たちの生活や会社経営においても、原油価格等の高騰のため、大きなマイナス影響を及ぼします。東三河支部会員の皆様も、現状をしっかりと見据え変化に対応し、粘り強く活動してほしいと思います。

さて、（一社）愛知県産業資源循環協会では、愛知県内54市町村と災害防止協定を結び、業務継続計画（BCP）を作成しました。そして近年、災害時におけるの仮置場設置マニュアル作りに力を注ぎ、順次進めています。

東三河支部では、昨年度、豊橋市と会議を重ねて、ほぼ完成しています。これを機に、今年度以降、新城市、豊川市、蒲郡市、田原市ともマニュアル作りを進めていきたいと考えています。それらをもとに実際の災害が起きた際に対応出来る体制を準備していきます。

今年度は東三河支部会員の知識向上のため、地域住民の理解を深めるための事業を計画します。

また、地域社会貢献活動にも積極的に参加していきたいと思っています。

以上の事業を実施するにあたり、東三河支部会員のご協力があるからこそ成り立ちますので、今年度もご協力の程をよろしくお願いします。

●令和4年度の東三河支部活動、重点項目

- 災害等に対する準備及び対応事業、東三河支部会員の連携強化を図る親睦活動（総務運営部会担当）
- 関係法令や循環型社会構築へ向けての考え方を学ぶ研修（中間処理委員会と研修委員会担当）
- 産・官・民連携事業として、地域貢献活動や相互理解促進事業（適正処理委員会担当）

1. 【総務運営部会】

東三河支部会員の組織力向上と連携強化及び災害発生時の対応を想定して準備する。

具体的事業活動

- ・災害発生時に備えて準備する
- ・支部会員相互の周知と会員増強
- ・通常総会及び新年会の実施

《研修指導委員会》

廃棄物処理法や関係法令の改正に対応した知識の習得や循環型社会構築に向けて様々な要求に対応して、広い視野と知識を持てるように、施設見学や講習会を行い、研修を通して支部会員の資質向上を図る。

災害発生時に備えて支部が活動できる支部全体で行える組織を整える。

具体的事業活動

- ・研修会の開催
- ・災害発生時に備えた準備に協力する

2. 【事業部会】

協会員各位の持続発展可能な事業活動の一助となるよう、資源循環事業における法改正等、速い変化の経済活動に対応できるよう、スムーズな情報提供。

具体的事業活動

- ・会員各位にスムーズな情報提供、会員相互の交流を実施
- ・議会行政との定期的な懇談会の実施、関係官庁との意見、情報交換及び勉強会の開催
- ・不法投棄防止パトロール及び不法投棄物撤去作業を実施し、啓蒙活動を周知し実行する

《適正処理委員会》

不法投棄物撤去作業は20年にわたり実施され、地域に貢献してきました。今年度もこの活動を継続することで、当協会に対する地域住民の理解度を上げ、会員企業が廃棄物の適正処理により循環型社会を支え、また環境を守るうえで重要な役割を担っているということを、伝えていきたいと考えております。

具体的事業内容

- ・不法投棄物撤去作業の実施
場所の選定においては、不法投棄防止パトロールの結果を参考にし、行政窓口を訪問して実態調査を行い、調査資料を基に決定する
- ・多くの地域住民に参加して頂き当協会をはじめ我々の業界について、理解を深めるきっかけとなることを目指します

《中間処理委員会》

廃棄物処理法及び関連法の理解を深める。

「廃棄物処理法の変化」に対応した企業体制を考え、継続して事業活動を続けられるようにする。

具体的事業内容

- ・会員と関係官庁との間で、講演会等を開催する
- ・関係官庁による講演を7月予定

直近の法改正

- ・プラスチック資源循環法（2022年4月）
- ・石綿事前調査結果報告システムのスタート（2022年4月）
- ・フロン排出抑制法 規制強化（2020年4月）

《企画委員会》

会員の意見を集約するとともに、支部活動のスムーズな運営のための検討をする。



鬼頭支部長より感謝の花束を受け 来賓の皆様
取る今期退任される富田雅昭委員



今年度の支部役員の皆様

■平成4年度・5年度 支部役員

支部長	鬼頭 秀幸	(有) リサイクリング産業
副支部長	竹内臨通夫	三州建設(株)
副支部長	清水 宏臣	(有) 清水商店
会計	金海慶太郎	(有) ビソ〜環境
幹事	伊藤 良文	(株) マルサワ
委員	松井 忠博	(有) 松井工業
委員	長崎 正敏	(株) トヨジン
委員	酒井 正樹	(株) 加藤解体工業
委員	宮澤 光	サーラ物流(株)
委員	洪本 雅昭	(株) MARUKO
委員	井本 佳宏	(株) イモト
委員	柏原 宏人	加山興業(株)
委員	萩原 裕久	壽鑛業(株)
委員	加藤 高志	(株) 加藤土木解体
監査	津田 治秀	(株) ダイワ